

平成20年2月22日

各 位

日本製紙連合会
広 報 部
(TEL03-3248-4801)

第2回 古紙と環境検証委員会の概要について

2月21日(木)午前10時より第2回 古紙と環境検証委員会を開催いたしましたので、概要を次のとおりご報告いたします。

(出席者)

大江委員長、磯貝委員、亀井委員、崎田委員、篠原委員、細田委員、渡辺委員、大澤委員、内藤委員代理伊藤氏、中俣委員、山本委員

1. 日本製紙連合会技術環境部会技術小委員会において検討された古紙パルプ配合率保証制度(案)について事務局が説明しました。
2. これに対して、委員から、(1)バガス、ケナフ等非木材系パルプについても、古紙パルプと同じように対応できるようにすべきではないか、(2)チェックリストとともに内部監査システムも重要、(3)チェックリストのわかりやすい説明が必要、等の意見がありました。基本的方向については了承が得られましたが、技術小委員会等でさらに検討するとともに、一度チェックリストに基づき現場を見る必要があるとの観点から、次回は工場を視察し、議論を深めることになりました。
3. 続いて、古紙配合率問題検討委員会において検討された再生紙の表示方法について事務局が説明しました。
4. これに対して、委員から、(1)段階に分けてマーク表示するのは消費者にわかりづらいのではないか、(2)マーク表示の最低ラインが1~10%で最低配合率が1%というのは、低すぎるのではないか、等の意見があり、古紙配合率問題検討委員会ですらに検討した上で、再度検証委員会で議論をすることになりました。

5. 前回の検証委員会の意見を踏まえ、よりわかりやすい表現に改定した「古紙の利用と環境について(案)」について事務局が説明しました。これについては、今後さらに委員の意見を聴取した上で、検証委員会で検討を行っていくことになりました。
6. 次回については、3月3日(月)に製紙工場の視察を行うことになりました。

以 上

(別 紙)

古紙と環境検証委員会名簿

(08/2/21)

委員長	大江 礼三郎	東京農工大学名誉教授 (林産学)
委員	磯貝 明	東京大学教授 (製紙科学)
〃	亀井 一行	アスクル(株)環境マネジメント統括マネージャー
〃	崎田 裕子	環境ジャーナリスト・環境カウンセラー
〃	篠原 良子	中央区環境保全ネットワーク代表
〃	細田 衛士	慶應義塾大学教授 (環境経済学)
〃	渡辺 謙	富士ゼロックスインターフィールド(株)取締役
〃	大澤 純二	王子製紙(株)執行役員研究開発本部副本部長
〃	内藤 勉	日本製紙(株)参与環境安全部長
〃	中俣 恵一	北越製紙(株)技術開発部担当部長
〃	山本 信夫	大王製紙(株)取締役可児工場生産担当

以 上